

会 議 録

会議の名称	令和4年度 美郷町和田地区住民説明会
開催日時	令和4年7月21日(木) 19時00分 ~ 20時15分
開催場所	美郷町和田地区公民館
出席者	和田地区長：吉田 様
	和田地区住民：他24名(男性：20名 女性：4名)
	美郷町町民生活課(担当)：田村課長、甲斐主幹、中田主任主事
	構成市町村：鈴木課長(日向市) 川越補佐(門川町) 甲斐課長(諸塚村)
	黒木課長(椎葉村)
	広域連合：吉田事務局長、田中補佐、黒木係長、尾前主査
	建設技術研究所(コンサル会社)：池田主任
議 題	別紙のとおり
会議資料 の名称 及び内容	・資料1 次期広域最終処分場候補地選定に係る説明会
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

説明会内容	
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ（区長・担当課長） 美郷町和田地区区長からあいさつ 美郷町町民生活課長（担当課長）からあいさつ 参加者の紹介 （美郷町役場町民生活課（担当）／田村課長、甲斐主幹、中田主任主事） （構成市町村／日向市環境政策課：鈴木課長 門川町環境水道課：川越補佐 諸塚村住民福祉課：甲斐課長 椎葉村税務住民課：黒木課長） （広域連合／吉田局長、田中補佐、黒木係長、尾前主査） （コンサル／池田主任）</p> <p>3 説明（進行：美郷町町民生活課）</p>	
説明会次第	
・次期広域最終処分場用地選定に係る説明会（資料1）	
<p>【事務局】 （資料1「次期広域最終処分場用地選定に係る説明会」について、資料内容に沿って説明する）</p> <p>【司会】 これより質疑応答を始めていきたいと思います。 まず初めに、伺いたい旨2点挙げております①候補地の状況と②最終候補地の選定方法についてご意見をいただきたいと思います。なお、意見のある方は挙手のうえ、一問一答形式でお願いします。 それでは、何かご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか？</p> <p>【地区住民】 入郷地区は、平野部と比べて地形・地質も異なっていて、候補地付近には高い山もあり、集中豪雨等も比較的多く、年間降水量もかなり多い所である。水処理にあたっては、埋立地から流れた水を一定量溜めて処理した上で放流するのか、随時処理して放流するものなのか伺いたい。</p> <p>【事務局】 水処理施設につきましては、資料に示しているとおり埋立地に降った雨水などは遮水シート部分まで浸透しますが漏れ出すことはなく、この遮水シート上に張り巡らせた集水管を通して水処理施設内に流れ込み、一時的に貯留します。水処理は、流入した浸出水を随時処理していきますが、国が定めている排水基準以下となるまで処理した上で放流する形になります。 防災面につきましては、これまでの選定過程の中で、地滑りや土砂崩れ等</p>	

の警戒区域や浸水想定区域などを除外し、地形図を用いた机上調査を行った上で、候補地における地形・地質の現地調査を行っておりますが、最終候補地に選定された際、ボーリング調査等の詳細調査に入らせていただき、現地の安全性や建設適性の詳細検討を行っていきながら、地域住民の皆様とのご協議やご意見の内容を踏まえた上で十分な対策を講じることができるよう対応していきたいと考えております。

また、集中豪雨等で雨水が一気に流れ込むことがないように防災調整池というものを整備し、放流水の調整を行うなどの適切な処理を実施していく考えでございます。

【地区住民】 三次候補地が美郷町2箇所、門川町1箇所となっているが、私が知る限り十数年前から門川町を予定地として進めていた経緯があったと思う。この予定地は、現在の門川町の候補地と同じなのかどうか、同じであれば、なぜ突然美郷町が候補地になったのかの説明をお願いしたい。

あと、広域（圏域の市町村）で処理されているごみ量の統計があれば示してもらいたい。おそらく、人口規模から見ても日向市が8~9割を占めていると思う。先ほどの説明で、日向市には建設しないという話だったが、私の考えでは入郷の山間部は自然や山林を守り、下流域にきれいで安全な水を流すという役割を担っているの、そこを考慮するとこういったもの（迷惑施設）は下流域に造るべきだと思う。

安全な施設であるということは理解できるが、それならば現処分場を管理している日向市が、過去に取り決めた経緯はあると思うけれども、合併して状況も変わっていると思うので、当然日向市がリーダーシップをとり、その（ごみ排出量最多である）責任を持ってやっていただきたいと考えているが、その辺りの意見を聞きたい。

【事務局】 日向市が対象外となっている事については、これまでの経緯を基に説明いたします。

少し前からの話になりますが、過去には山の谷合などに粗大ごみなどを捨てていた時代背景がありました。しかし、公害問題につながることから、国から管理型処分場という遮水シート等で汚水が漏れ出ないようにし、汚水（浸出水）をきれいな水になるまで処理した上で放流する形で管理を行うことと命令が出ました。

その際、日向市は独自で造ることを決めましたが、残りの2町5村は共同で造るという形で決めた経緯があります。日向市は、予定通り処分場を建設しましたが、2町5村についてはいろいろな経緯があつて頓挫してしまい、建設には至りませんでした。

合併後に2町2村となりましたが、なかなか建設までに至らない背景があ

り、日向市に共同処理のお願いを再三に渡り行っておりました。日向市としては、処分量が減ることから了解しがたい話であったのですが、最終的には次に造る処分場は日向市以外にするという条件のもと、2町2村のお願いを聞き入れて共同処理を行う形となりました。

その決定を行った時期が平成24年3月であり、2町2村はこれに同意した上で共同処理を行っているため、日向市は今回の選定範囲対象外となっているということでございます。

【事務局】 令和3年度におけるごみの焼却量につきましては、全体で23,206tとなっております。そのうち、日向市16,689t(71.9%)、門川町5,074t(21.9%)、美郷町877t(3.8%)、諸塚村191t(0.8%)、椎葉村375t(1.6%)となっております。

【事務局】 担当から説明があったのは、門川町栄ヶ丘のことになります。こちらについては、面積過小や地すべり危険地域があるということで実現できないという形になりました。

その後、門川町加草を候補地として選定したのですが、土地の大部分を所有している地権者が変わり、協議を進めましたが、ご自身での将来的な土地利用目的があるとして正式にお断りされたため、やむなく断念した経緯がございます。

これらの経緯から、一昨年より新たにゼロからスタートをして、現段階まで進めてきたところでございます。

【地区住民】 長谷川から(田に)水を引いている。処理水は安全である旨の説明をされてはいるが、近年、予期せぬ災害が多発している(新たに処分場を造成することに対して)非常に心配している。

水源は長谷川1本しかないので、環境汚染が一番心配される場所である。ごみは、私たち各家庭から出るものなので、できる限りの協力はしていく必要があると思っているが、もしものことがあれば人体に入るものなので、風評被害などが懸念され、死活問題となるものである。

霧島の火山灰で、水が濁っただけでも米が作れないという現実があったので、そういうところが非常に心配である。

【事務局】 長谷川が水源となっている話をお聞きしておりましたので、美郷町の担当者同行のもと沢を登って取水地を確認させていただきました。コンサルと協議検討を行ったところ、現段階での想定として下流側に堰が2箇所あり、それよりも下流に放流する形で、排水基準を下回る水質ではありますが、取水口に放流しない方法もあります。

(現処分場の立地関係について、航空写真をもとに説明する)

今お示ししているのは、日向市富高地区にある現最終処分場を上空から撮

影した写真で、中心にある赤色のピンマークのところに処分場が位置しております。黄色の点線で円形範囲をお示ししているのは、現処分場からの距離であり、手前から 500m～2.0km の範囲で記載しているものとなります。

750m 付近には公共施設である富高保育園があり、1.0km を超えたあたりでは市街地に入る上に、塩見小学校や日向中学校があります。1.5km では日向市役所、2.0km の範囲では日向市駅が入るような状況であり、案外町場に近いところに位置していることが分かると思います。

次のスライドは、周辺民家や農地等の状況を整理した図面となりますが、最寄りの民家が現処分場の中心から約 400m、外周からだ約 200m のところに位置しており、750m～1.0km の範囲を見るとかなりの数の民家が入ってくるようになります。

現処分場から約 500m の位置に多数の田が存在しており、1.0km の範囲では約 28ha の田が広がっております。トマト栽培の施設園芸ハウスも 1 箇所存在しているところです。

このように、現処分場から近い位置に田が存在しておりますが、今までにそういった風評被害があったという報告は受けていない状況です。

また、先ほど案内しました見学会では、このような状況をご確認いただけるかと思っております。現在コロナの影響もあるところですが、バスを手配いたしまして間隔の確保をしっかりと行った上で開催いたしますので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

【地区住民】 今の説明では少しわかりにくいところがあったので確認したい。当地区では、長谷川から全ての田に取水しているが、現処分場付近の田は全て放流水を引き水として利用しているのか？

【事務局】 現処分場のすぐ近くに水処理施設があり、付近を流れる富高川に堰が設けてありますが、農業用水のための取水は堰から行っており、放流はそこよりも下流に行っております。

【地区住民】 候補地は長谷川の上流に位置しており、(最終候補地として決定された際)そこに埋立地を建設することになると思う。地域では、水源にもなっている川をいつまでもきれいなままで残したいと考えている。行政側も、今の 3 箇所を絞り込むまでにいろいろな苦勞をしてきていることは評価するが、過去に今の候補地と同じところに養鶏場を造るという話があり、同様に説明会を開催したが、やはり環境問題が懸念され全面的に反対した経緯がある。

私としては、やはり将来の住民や子供たちのためを思うと、どこの地区でも同様であると思うがきれいな環境を残していきたいと考えるし、長谷川の上流ということもあり、基本的には反対である。

【事務局】 ご意見ありがとうございます。建設を行うこととなった際には、地域住民

の皆様や地権者の方々と十分に協議をさせていただきながら、環境保全や災害対策といった部分についても十分対応できるような施設となるように鋭意努力してまいりたいと考えております。

【地区住民】 北郷の方から下り線において、通行車両がかなりの速度で入ってくるので、どれくらいのごみ量を運搬してくるのかというところと、総合評価に交通面がどの程度反映されているのかを伺いたい。

【事務局】 総合評価の中で、交通面がどのように反映されるかという点につきましては、現地確認を行う際、現在の交通量がどの程度あるのか、どのような影響があるかというところを評価することになります。

ごみの搬入につきましては、現段階での想定となりますが、焼却灰が平日の午前午後8tダンプで各1台、不燃性残渣が4tダンプで週に4台程度で、1日あたり3台程度を見込んでおります。速度につきましても、法定速度等を遵守し、住民の方々などにご迷惑をおかけしないような取組を行ってまいります。

【地区住民】 候補地選定にあたって、その経緯の中で地域住民にどのような聞き取りを行った上で、どのような評価のもと選定されたのかを伺いたい。

また、西郷と南郷の境に美郷トンネルがあり、その辺りの集落は小原地区というが、そこも候補地の一つになっていたと聞いているが、実際にそうなのかも教えていただきたい。

【事務局】 選定経緯につきましては、資料P11にお示ししているとおり、一次候補地34箇所から三次候補地3箇所まで段階を経て絞り込みを行ってきたところで、選定にあたっては用地選定検討委員会という学識経験者や地区の代表者、公募でご参加いただいた住民代表者を含めた10名で構成された組織にて、公平公正な審議を諮った上で決定してきております。

選定過程及びその結果につきましては、広域連合や構成市町村のホームページ及び広報誌により皆様に周知を図るとともに、ご意見等を広く伺うためにご意見シートやお問い合わせフォームをご用意しており、積極的な情報開示や意見集約等をさせていただいたところです。

三次候補地では、3箇所まで絞り込んだところで、このような説明会の場を設けさせていただき、今後最終候補地の選定に向けたご意見等の聴取を行わせていただいているところです。

【事務局】 資料にもお示ししているとおり、一次候補地の抽出段階では、建設するのにふさわしい場所、例えば幹線道路から距離が近い、面積が3haを超えているといったものを、地図上で抽出したものが33箇所になります。

公募につきましては、一昨年実施し1箇所の応募をいただいておりますが、こちら美郷町からの応募であり、ここを含めて34箇所となります。

言われるとおり、この候補地の中には小原地区に該当する箇所もありましたが、いずれの候補地も地形が急峻であり、造成にかかる建設費用が他の候補地と比較して膨大になってしまうということから、周辺民家等が少ないところではあったのですがそういったネックとなる部分が低い評価となり選定されなかった経緯がございます。

【地区住民】 平成 17 年頃に耳川の氾濫で大水害を被った地域であり、床上 60 c m まで浸水したことが記憶に新しいところである。上流側の諸塚村も住宅が流されるなどの大きな被害があった。

今現在、地球温暖化により線状降水帯という集中豪雨のようなものが多発しており、処分場が建設されると仮定した際、予期せぬ大災害などを完全にクリアできるような設備が整えられるのか一番気になる場所である。

全国を見ても、(防災調整池で) コントロールできない水量が想定されると思っているので、非常に不安である。

【事務局】 ご意見ありがとうございます。防災調整池につきましては、雨水等が一度に流れ出ないように調整を行う設備であります。そのようなご意見などを伺いながら、安心安全な施設はどうあるべきかという点についてご協議を重ねていき、地域住民の方々が納得のいくようなものを造成していきたいと考えております。

また、日向市にある現処分場は、平成 12 年から第 4 期埋立を開始しております。先ほど言われた、耳川水系を氾濫させるほどの大雨も経験しているところですが、数々の自然災害を被災しても今なお健在に稼働しており、現処分場の影響により被害を受けたという事例は発生しておりません。

今後建設される処分場は、技術面において調査・研究された最新のものを取り入れていきますので、最悪の事態を想定した上でその未然防止に努めていく形で進めていきたいと考えております。

【地区住民】 仮に建設候補地として工事するとなった際、工事中に濁水や残土が河川に流れ出て、下流域の水田に流れてくるのではないかと心配である。388 号線の道路拡幅工事で路線変更があり、林道開設を行う際に土砂を搬出する予定であったが、残土がそのまま取水する堰に溜まり、十数年経った今、やっと落ち着いてきたというところである。

そういったことがあるので、建設するとなった際にはしっかりとした対策をしていただきたい。

【事務局】 ご意見ありがとうございます。建設するとなった際は、今ある地形を活用しながら処分場の造成を行っていくこととなりますが、造成工事を行うときにはそういったところに十分注意しながら進めていく考えでございます。

また、工事中などにおける放流水の処理方法や放流先、河川水量の減少等

も想定されるところだと思いますが、例えば工事中の濁水については、濁水処理として沈殿させた上で放流するといったような対策が考えられます。

また、直接河川に放流するのではなく、新たに水路を設け迂回させる形で放流を行うことや、上流側に降った雨水等を処分場に直接流入させずに迂回して河川に水路を形成した上で流すといったことも考えられます。

残土につきましても、埋立作業の覆土にも充てる形になると考えておりますが、残土処理場より下流域に流れ出ないような対策を整えていきたいと思っておりますので、そのような点につきましては、今後最終候補地として選定された際にご協議しながら進めさせていただくことはもちろん、選定していく中で現地調査をさせていただく際にも十分な検討を行っていきたくと考えております。

【事務局】

処分場におきましては、かなりの土量が発生しますので、基本的には施設の中で確保したものを切り盛りする形で、場内外での土砂の搬出入は行わないような施工要領となります。

処分場建設にあたっては、濁水が外に流れ出ないようにする対策を先に講じます。上流側から流れてくる水に関しては、仮締め切りとって上流部を締め切った形にして、そこからバイパスを通した上で工事範囲内を通過させて直接下流に流すような配慮を、工事段階に応じて何段階も講じていく形で工事に入っていくこととなります。

こちらに関しましては、最終候補地として決定した後、どのように施工していくべきかという協議を行う際の話であり、そのときには地域の皆様からいただいたご意見などを反映させながら進めさせていただく形になりますので、その点についてはご安心いただければと思っております。

【司会】

その他、何もご意見等ないようであれば質疑を終了させていただきたいと思えます。…ご意見等はございませんでしたでしょうか。

それでは、挙手の方もないので、ここで質疑応答を終了したいと思えます。大変貴重なご意見ありがとうございました。

続きまして、本日の説明会を踏まえて、最終処分場の選定や今後のスケジュールなどにご意見等ありましたら、日向東臼杵広域連合業務第1係もしくは美郷町役場町民生活課までお問い合わせいただければと考えております。

また、日向東臼杵広域連合のホームページのお問い合わせフォーム、資料の最後のページにありますQRコード、もしくはホームページの方からもアクセスできるような状況となっております。

これまでの、三次候補地選定に係る資料も公表させていただいておりますので、ご確認いただければ幸いです。

先ほどの説明の中でありました現地調査につきましては、8月初旬には実施させていただきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

最後に、現処分場見学会についてご案内します。現在使用している日向市一般廃棄物最終処分場の見学会を7月31日（日）に開催いたします。処分場の周辺や埋立状況、埋立している灰などを実際にご覧いただく良い機会となると思います。詳細は案内文書に記載しておりますが、電話にて申込みいただきまして、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして次期広域最終処分場用地選定に係る住民説明会を終了させていただきたいと思っております。本日は貴重な時間をありがとうございました。

～ 閉 会 ～